

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

観光戦略課(内線:7239)

1 目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考															
				国庫支出金	起債	その他	一般財源																
サイクリストの聖地鳥取県整備事業(サイクルツーリズム推進事業)	46,401	33,876	12,525	41,151			5,250																
トータルコスト	53,498千円(前年度 41,005千円)[正職員:0.9人]																						
主な業務内容	関係機関等との連絡調整																						
工程表の政策内容	魅力ある観光地づくりと戦略的観光情報の発信、外国人観光客の受入環境の整備																						
事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」、「地方創生推進交付金」充当事業】																							
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>県内外のサイクリストに安心快適にサイクルツーリズムを楽しんでいただくとともに、県内サイクリングルート(ナショナルサイクルルート(NCR)指定を目指すため、候補ルートの走行環境及びサイクリスト受入環境の整備を行う。</p> <p>また、鳥取うみなみロード等サイクリングルート(観光活用、サイクルツーリズム推進の気運醸成を図るため、県内サイクリングルート、サイクリスト支援体制等の情報発信を行うとともに、サイクリングイベントを実施する。</p> <p>※ナショナルサイクルルート:走行環境、受入環境等に係る国が定める要件を満たし、日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルート。</p>																							
<p>2 主な事業内容 (単位:千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 ナショナルサイクルルート指定に向けた取組</td> <td>安全・快適に走行するための路面標示等の整備計画を策定し、走行環境の整備を進める。 また、コンビニエンスストア、飲食店へのバイクスタンド、修理工具等の設置、自転車の屋内保管等サイクリスト向けサービスを提供する鳥取県版サイクリストに優しい宿の認定を行うとともに、多様な交通手段に対応したゲートウェイ整備に向けた支援、地域の魅力を紹介するサイクリングガイドの養成を行い、受入環境の整備充実を図る。 さらに、県内サイクリングルートを活用したイベントを実施し、魅力を広く発信する。</td> <td>25,024</td> </tr> <tr> <td>2 サイクルツーリズムの全県展開</td> <td>サイクリングイベントでのレンタサイクル調達に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限200千円)、レンタサイクル拠点の整備に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限1,000千円)を行うとともに、交通機関と自転車が連携した新たな取組を支援する。 また、鳥取河原自転車道及び倉吉東郷自転車道の修繕により、安全・快適な走行環境を整備する。</td> <td>17,877</td> </tr> <tr> <td>3 広域連携・情報発信</td> <td>中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、中国5県が連携して受入環境の整備等に取り組むとともに、近県サイクリング大会におけるPR等の情報発信に取り組む。</td> <td>3,500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合計</td> <td>46,401</td> </tr> </tbody> </table>									区分	内容	予算額	1 ナショナルサイクルルート指定に向けた取組	安全・快適に走行するための路面標示等の整備計画を策定し、走行環境の整備を進める。 また、コンビニエンスストア、飲食店へのバイクスタンド、修理工具等の設置、自転車の屋内保管等サイクリスト向けサービスを提供する鳥取県版サイクリストに優しい宿の認定を行うとともに、多様な交通手段に対応したゲートウェイ整備に向けた支援、地域の魅力を紹介するサイクリングガイドの養成を行い、受入環境の整備充実を図る。 さらに、県内サイクリングルートを活用したイベントを実施し、魅力を広く発信する。	25,024	2 サイクルツーリズムの全県展開	サイクリングイベントでのレンタサイクル調達に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限200千円)、レンタサイクル拠点の整備に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限1,000千円)を行うとともに、交通機関と自転車が連携した新たな取組を支援する。 また、鳥取河原自転車道及び倉吉東郷自転車道の修繕により、安全・快適な走行環境を整備する。	17,877	3 広域連携・情報発信	中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、中国5県が連携して受入環境の整備等に取り組むとともに、近県サイクリング大会におけるPR等の情報発信に取り組む。	3,500	合計		46,401
区分	内容	予算額																					
1 ナショナルサイクルルート指定に向けた取組	安全・快適に走行するための路面標示等の整備計画を策定し、走行環境の整備を進める。 また、コンビニエンスストア、飲食店へのバイクスタンド、修理工具等の設置、自転車の屋内保管等サイクリスト向けサービスを提供する鳥取県版サイクリストに優しい宿の認定を行うとともに、多様な交通手段に対応したゲートウェイ整備に向けた支援、地域の魅力を紹介するサイクリングガイドの養成を行い、受入環境の整備充実を図る。 さらに、県内サイクリングルートを活用したイベントを実施し、魅力を広く発信する。	25,024																					
2 サイクルツーリズムの全県展開	サイクリングイベントでのレンタサイクル調達に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限200千円)、レンタサイクル拠点の整備に係る経費に対する支援(補助率1/2:上限1,000千円)を行うとともに、交通機関と自転車が連携した新たな取組を支援する。 また、鳥取河原自転車道及び倉吉東郷自転車道の修繕により、安全・快適な走行環境を整備する。	17,877																					
3 広域連携・情報発信	中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、中国5県が連携して受入環境の整備等に取り組むとともに、近県サイクリング大会におけるPR等の情報発信に取り組む。	3,500																					
合計		46,401																					
<p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内外のサイクリストに安心快適にサイクリングを楽しんでもらえるよう、サイクリスト支援体制の整備を進めるとともに、県内サイクリングルート(観光活用)の利用促進に向け、鳥取うみなみロードを活用したサイクリングイベントを開催する。 県西部地域においては、歴史あるサイクリング関連イベントが複数開催されているほか、サイクリングルートへの案内標示や休憩スポットの整備など、東・中部に先行してサイクルツーリズムの取組が進められてきた。 鳥取うみなみロードの整備により、西部地域でのサイクリング振興の機運を中部、東部地域へ広げていく流れが加速し、サイクリスト目線での更なる受入環境の充実を進めてサイクルツーリズムの全県展開を推し進めていくとともに、中国地方5県による広域連携でのサイクルツーリズムの推進の取組も活用し、近隣地域とも連携したサイクリスト相互誘客を図る。 																							

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費
 3項 観光費
 1目 観光費

観光戦略課(内線:7238)
 (単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
外国人観光客受入環境整備事業	20,850	22,450	△1,600				20,850	
トータルコスト	24,004千円(前年度 25,618千円) [正職員:0.4人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、広報、補助金・負担金交付業務							
工程表の政策内容	外国人観光客の受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

本県が国際的な観光地としての魅力を高め、国内外から多くの観光客が訪れる国際リゾート地として発展することを目的に、アフターコロナを見据えながら、訪れる外国人観光客の利便性を図るとともに官民が一体となって県内の『おもてなし』機運を醸成して受入環境整備を図る。

2 主な事業内容

(単位:千円)

区 分	予算額	内 容
(1) 外国人観光客倍増促進補助金	12,000	県内宿泊施設、観光施設等における外国人観光客の受入環境整備に対する取組を支援する。
		補助金名 鳥取県外国人観光客倍増促進補助金
		補助対象者 市町村・広域連合、県内民間事業者(市町村・広域連合は案内看板の多言語化のみ対象)
		補助率 1/2(上限1,000千円)
		補助対象経費
		<ul style="list-style-type: none"> ・外国人観光客受入のための研修会開催 ・案内ツール(HP・パンフレット等)の多言語化 ・外国語表記看板、電子マネー等のキャッシュレス決済対応機器、音声翻訳を行うためのタブレット端末等の設置 ・Wi-Fi環境整備 ・消費税免税店舗の開設等に要する経費(パスポートリーダー等の物品購入費等) ・ムスリム観光客のための環境整備 ・両替及びモバイルサービス等導入 ・災害時における外国人観光客対応(多言語案内ツールの作成、対応訓練、非常用電源の設置等)
(2) 観光施設等の多言語対応の充実・利便性の向上	850	多言語電話通訳サービスを提供する。(通年)

区 分	予算額	内 容		
(3) 宿泊施設魅力アップ事業補助金	8,000	補助金名	鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金	
		補助対象者	県内旅館・ホテル等の宿泊施設（温泉旅館組合・ホテル旅館組合は観光客受入のための研修会開催のみ）	
		補助率	1/2 ※和式トイレの洋式化のみ1/3 （上限1,000千円）	
		補助対象経費	ユニバーサル化事業	<ul style="list-style-type: none"> ・客室、食事処等を誰もが使いやすい環境へ整備するための経費（和室へのベッドの整備、食事処への机、椅子の整備等） ・テレビの字幕・手話放送、外国語放送導入に要する経費 ・和式トイレの洋式化
			魅力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> ・体験メニュー造成に要する経費（着物体験メニュー造成など） ・観光客受入のための研修会開催等に要する経費
			ペット宿泊推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・客室でペットと一緒に宿泊するための整備に要する経費
			サイクリストの聖地推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車を館内（玄関口など）に駐輪する等の整備に要する経費
(新) サウナツアーリズム推進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・サウナ施設の整備（新設及び改修）に要する経費 			
計	20,850			

3 事業目標・取組状況・改善点

外国人観光客の受入環境の整備や海外に向けた誘客活動を促進することにより、国際リゾートとしての本県の魅力向上と世界への情報発信を図り、本県を訪れる外国人観光客を増加させることを目標とし、県内宿泊施設をはじめ、観光施設等のWi-Fi環境整備、ホームページの多言語化、外国語表記看板等に対する支援のほか、多言語電話通訳サービスの提供等を行っている。

また、外国人に加え、高齢者や障がいのある方にも旅行を楽しんでいただけるように、宿泊施設の魅力向上に向けた取組（ユニバーサル化やトイレの洋式化、ペットとの宿泊やサイクリスト向けの環境整備等）にサウナツアーリズム推進事業を加えて、あらゆる観光客が快適に宿泊できる施設の充実を図る。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

国際観光誘客課（内線：7629）

1目 観光費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新)アフターコロナ 新しい旅のスタイル 推進事業	110,000	0	110,000	110,000				
トータルコスト	132,559千円（前年度 0千円）〔正職員：2.5人、会計年度任用職員1.0人〕							
主な業務内容	外国人観光客誘致活動、関係機関との連絡調整等							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス収束後、本県への外国人観光客の誘客を強力に促進していくためには、鳥取らしい魅力ある新たな旅のスタイルを提案し、差別化を図っていくことが重要である。

インバウンドの早期受入が見込まれる主要空港（関空・羽田等）からの誘客対策や、小人数分散型ツアーに対応した補助メニューの創設、長期滞在が見込める欧米等海外富裕層誘客対策、食の多様化による誘客促進など、新たな旅のスタイルを提案することで誘客促進を図っていく。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	区分	内容	予算額
1	主要空港（関空、羽田等）からの誘客促進事業	SNS等で情報発信することを条件に、海外旅行社が造成する旅行商品の購入者に対し県内宿泊代の一部を支援することで主要空港からの誘客促進を図る。	30,000
2	小人数分散型ツアー造成支援事業（外国人観光客送客促進事業補助金の制度改正）	3密を避けた小人数旅行を中心とした新たな旅行スタイルに応じた旅行商品造成を支援する補助制度を整備する。 ＜新設メニュー例＞ タクシー・レンタカー借上げ経費やツアー実施前のPCR検査費用の一部	57,000
3	長期滞在が見込める海外富裕層誘客事業	長期滞在が見込める欧米等の海外富裕層の誘客を促進するため、現地旅行社と連携して、観光情報説明会やオンライン商談会の開催、SNSでの情報発信等を実施する。	20,000
4	食の多様化推進事業	外国人観光客の中には、健康的・宗教的、アレルギー等の理由で食に制限を持つ方が増加しており提供側の工夫が求められている。ベジタリアン等のモニターツアーやセミナーなどを通じて県内宿泊施設等で食の多様化への対応力を高め、新たな客層とリピーター獲得に取り組む。	3,000
	合計		110,000

3 事業目標・取組状況・改善点

新型コロナウイルスの感染拡大以降、新たな取組としてオンライン中継による観光セミナーの実施や在留外国人による取材等で海外へ情報を発信している。

アフターコロナにおいては、他地域とは違う魅力的なツアーを造成するなど新たな旅のスタイルを提案することで誘客促進につなげていく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光誘客課（内線：7629）

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新型コロナから立ち上がるインバウンド観光促進事業	401,528	221,554	179,974				401,528	
トータルコスト	482,754千円（前年度 303,140千円）[正職員：10.3人]							
主な業務内容	外国人観光客誘致、国際定期便利用促進、国際航空便就航促進等							
工程表の政策内容	航空路線の利便性の向上、外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス収束後の海外渡航規制緩和、インバウンド需要回復を見据え、国際定期便の安定的運航や国際チャーター便を含む新規路線の誘致を推進する。

また、外国人観光客誘致を促進するため、東アジア主要市場（韓国、中国、香港、台湾）や訪日観光客需要の伸び率が高い東南アジア市場、長期滞在が見込まれる富裕層をはじめとする欧米豪市場向けなど、多角的に従来からの団体旅行対策に加え、密になりにくい個人・小グループ旅行対策にも力点を置きつつ、航空会社や旅行会社、現地メディア等と連携したプロモーションに取り組む。

2 主な事業内容

（単位：千円）

	区分	事業内容	予算額
1	国際便運航支援	国際定期便の安定的運航や国際チャーター便を含む新規路線誘致を推進するため、各航空会社への着陸料等の運航経費や旅行会社へのPR経費等を支援するとともに、国際定期便利用促進協議会と連携して国際定期便の利用促進を図る。	215,228
2	誘客プロモーション	新型コロナウイルス収束後の本県への誘客を図るため、航空会社・旅行会社等と連携したプロモーション、情報発信等を推進する。 ・オンラインツールを活用したプロモーション（リモート商談会・旅行博、オンラインツアー） ・SNS等を活用した安心安全情報発信（Facebook、Instagram、YouTube等） ・OTA（インターネットで取引を行う旅行会社）と連携した鳥取県特設ページ開設、バナー広告 ・地域の観光体験や住民交流等を通じた魅力発信 等	155,300
3	海外駐在員等配置	韓国・香港・台湾人駐在員の配置、上海現地事務所の設置（現地での情報収集、旅行会社への情報提供、SNS情報発信、旅行博出展等）	31,000

3 事業目標・取組状況・改善点

(1) 米子鬼太郎空港発着の国際定期便の路線拡大、積極的な海外プロモーション等の効果により、平成30年の外国人延べ宿泊者数は約19.5万人を達成したが、令和元年以降、国際情勢や新型コロナウイルス感染拡大に伴う世界的な海外渡航規制の影響により、大幅な落ち込みとなっている。

(2) このような中、これまでの鳥取県ファンを維持しつつ、新規顧客を獲得するために、国・地域ごとの新型コロナウイルスの収束状況を見極めながら、SNSを活用した情報発信を継続的に実施するとともに、航空会社・旅行会社等とのWeb会議による情報交換、オンライン商談会への参加等のプロモーション活動、国内在住外国人向けの情報発信等に取り組んでいる。

【各市場での主な取組】

韓国	エアソウルと連携した鳥取上空を飛行する無着陸遊覧飛行機内やエアソウル機内を再現したソウル市内カフェでの本県PRのほか、韓国最大の物産展「メガショー」と同時開催された旅行博「トラベルショー」出展や韓国メディア・インフルエンサーを対象としたオンライン酒蔵ツアーを実施し、本県の観光情報発信に取り組んだ。
香港	香港の大学と連携してオンラインを活用した和傘製作体験イベントを開催したほか、香港で最も来場者の多い一般消費者向けイベント「香港ブックフェア」において、日本政府観光局と連携し、現地と鳥取県の観光地を結んだオンライン中継を実施し、本県の観光情報の発信に取り組んだ。
中国	「2021 国際冬季運動（北京）博覧会」（ウインタースポーツ博覧会）において、「海に見えるゲレンデ」大山をPRしたほか、江蘇省蘇州市及び浙江省寧波市の日系商業施設で開催されたジャパンプランドへの出展、島根県と連携して両県のゆるキャラや観光地、米子上海便の情報をSNSで発信するとともに、中国最大手のOTAサイトで山陰特集ページを掲載するなどの情報発信に取り組んだ。
台湾	旅行会社と連携した現地での観光PRイベント、航空会社と連携しオンラインでの観光情報説明会、教育関係者向けのオンラインセミナーの開催及びSNSでの情報発信などを継続的に実施し、知名度向上を図った。 併せて鳥取－台湾ファンクラブや台湾旅行社で構成される鳥取応援団の設立など定期便化に向けた機運醸成も図られた。
東南アジア	東南アジアターゲット市場（タイ・シンガポール・ベトナム・マレーシア・インドネシア・フィリピン）の旅行社・メディアに対して本県の旬の観光情報等を掲載したニュースレターを毎月配信した。
欧米豪露	欧米豪露の旅行社・メディアに対して、本県の旬の観光情報等を掲載したニュースレターを毎月配信するとともに、本県の観光地としての認知度向上、旅行商品造成につなげるため、旅行会社向けのオンライン商談会・セミナーや一般向けのオンライン日本博（英国）に出展した。

(3) 引き続き、ウィズコロナ・ポストコロナに即した誘客活動を展開し、国際定期便の運航再開・安定運航や新規路線の就航を通じて、外国人観光客の回復を図るとともに、快適に旅行できる受入環境整備ときめ細やかな魅力の発信を通じて、訪問客の滞在時間増・消費額増大につなげ、持続可能なインバウンド受入体制を構築していく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

国際観光誘客課 (内線：7629)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(新) デジタル技術を用いた外国人観光客受入環境整備事業	24,000	0	24,000	24,000				
トータルコスト	29,520千円 (前年度 0千円) [正職員：0.7人]							
主な業務内容	外国人観光客受入環境整備、関係機関との連絡調整等							
工程表の政策内容	外国人観光客の誘致及び受入環境の整備							

事業内容の説明 【「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」充当事業】

1 事業の目的・概要

新型コロナ収束後の外国人観光客受入に向けて、デジタル技術を用いた宿泊施設等の受入環境整備や本県の魅力を体感できるコンテンツ造成を行うことで外国人観光客が快適に旅行できる環境整備を行う。

2 主な事業内容

(単位：千円)

区分	内容	予算額
外国人観光客受入環境整備補助金	<p>県内宿泊事業者にデジタル技術を活用した受入環境整備支援を行う。</p> <p><事業主体> 県内宿泊事業者 <補助率> 1/6 ※対象は観光庁 訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業補助金採択(補助率1/3)事業者 <件数> 県東中西部で各5施設程度 ※事前に先進事例研修会で知見習得、個別相談等を実施。 <デジタル化による受入環境整備(例)> ・非接触決済システムの導入 ・パスポートスキャンシステム導入 ・三密回避のための人感センサー設置 ・多言語対話用タブレット端末整備 等</p>	8,000
VR技術を用いた仮想鳥取県体感事業	<p>訪日外国人に人気の鳥取の魅力を感じることができる体験メニューや観光地のVRコンテンツ(多言語)化を行い、海外にいながら仮想鳥取県のアクティビティ体験ができる環境を整えることで外国人観光客の新型コロナ収束後の本県訪問を促進する。</p> <p><外国人に人気の体験メニュー(例)> ・鳥取砂丘サンドボード ・梨狩り体験 ・大山ダウンヒル 等 <主な活用方法> ・海外旅行会社と連携したオンラインツアー ・海外旅行博での仮想鳥取県体験</p>	16,000
合計		24,000

3 事業目標・取組状況・改善点

全世界的な海外渡航規制の影響により、外国人観光客が来県できない状況であるが、これまでの鳥取県ファンを維持し、新規顧客を獲得するためにSNS等への情報発信を継続的に実施するとともに、航空会社・旅行会社等とのWeb会議による情報交換、オンライン商談会等への参加等のプロモーション活動を実施するとともに県内観光施設等へのWi-Fi環境整備や外国語看板設置支援のほか、多言語電話通訳サービスの提供など外国人観光客受入環境の整備に取り組んでいる。

アフターコロナの旅行形態では3密回避や非接触型旅行などの行動変容が起こることが見込まれることから、デジタル技術を用いた施設受入環境整備や海外にいながら鳥取県を体験できるコンテンツの開発・活用等に取り組んでいく。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

2款 総務費

2項 企画費

交流推進課（内線：7123）

1目 企画総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
新しい生活様式における国際交流推進事業	4,264	4,264	0				4,264	
トータルコスト	5,841千円（前年度 5,848千円）[正職員:0.2人]							
主な業務内容	関係機関との連絡調整、現場対応							
工程表の政策目標(指標)	国内外の多様なチャンネル・分野での交流を通じた地域活性化の推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

新型コロナウイルス感染症の影響により、県民が異文化を体験する機会や在住外国人と交流する機会が大きく減少している。県内飲食店において各交流地域等の料理を提供するレストランフェアを開催するとともに、県内在住者同士によるホームステイ事業を実施することにより、異文化への理解を促進し、多文化共生社会の推進及び国際交流の機運醸成を図る。

2 主な事業内容

（単位：千円）

事業名	内容	予算額
1 鳥取で世界一周！食で交流推進事業(レストランフェア)	[期間]2カ月間程度 [場所]県内飲食店 30店舗程度 [内容]・交流地域等の料理提供 ・スタンプラリー ・SNS等を活用した交流地域等の情報発信	4,144
2 県内在住外国人がホストファミリー事業(ホームステイ)	[時 期]夏季休暇期間や冬季休暇期間を想定 [期 間]1泊2日 [ホスト]県内在住外国人(単身者を除く):15家庭程度 [参加者]県内小・中・高校生:25名程度	60
3 県民がホストファミリー事業(ホームステイ)	[時 期]夏季休暇期間や冬季休暇期間を想定 [期 間]1泊2日 [ホスト]県民(単身者を除く):15家庭程度 [参加者]県内在住外国人:25名程度	60
合計		4,264

3 事業目標・取組状況・改善点

鳥取県は、中国吉林省、韓国江原道、ロシア沿海地方、モンゴル中央県を中心として北東アジア地域を始め、台中市などの東アジア地域や欧米とも多岐に渡る分野で交流を行っている。新型コロナウイルス感染拡大のため往来による交流が制限される中、県民の異文化理解促進により多文化共生社会の推進及び国際交流の機運醸成を図り、コロナ収束後の交流人口拡大へつなげていく。

なお令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大に伴いレストランフェア及びホームステイのいずれも中止し、代替として交流地域の料理を学校給食で提供する取組を行った。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

まんが王国官房(内線:7800)

1目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが・アニメツーリズム推進事業	27,169	24,131	3,038				27,169	
トータルコスト	33,478千円 (前年度 30,468千円) [正職員:0.8人]							
主な業務内容	企画、連絡調整、展示会出展・運営、補助金審査・交付、委託契約事務							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっどりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

まんが・アニメを活かした本県の情報発信や国内外からの誘客を促進するため、本県ゆかりのまんが・アニメとタイアップしたプロモーションや県内周遊の仕組みづくりなどを行う。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内容
1 国内観光客の周遊・滞在促進企画	2,000	国内観光客の県内周遊を促進し地域への経済効果を図るため、県内全域のまんが関連施設・スポットを周遊するデジタルスタンプラリーを実施する。
2 (新)水木しげるの展覧会連携	3,000	“妖怪”をメインテーマとした水木しげるの展覧会と連携し、まんがをテーマにした本県の情報発信を行う。
3 漫画「四十七大戦」との連携	3,500	都道府県擬人化バトル漫画「四十七大戦」と連携し、本県の情報発信と観光誘客の促進を図る。
4 (新)鳥取県ゆかりの漫画作品との連携	1,000	鳥取県ゆかりの漫画作品と連携し、聖地巡礼マップを作成する等により本県への誘客促進を図る。
5 妖怪文化をテーマにした自治体との情報発信、アニメツーリズム協会等との連携	2,150	他自治体と共同で妖怪文化をテーマにした情報発信を行う。アニメツーリズム協会等と連携を図り、国内外へ「まんが王国とっどり」を広く情報発信する。
6 まんが王国とっどり満喫周遊パスの発行	2,500	訪日外国人観光客の県内周遊を促進するため、まんが王国とっどりの主要観光施設をお得に巡る施設入場パスを発行する。 ・対象施設:水木しげる記念館、とっどり花回廊、青山剛昌ふるさと館、鳥取砂丘砂の美術館、鳥取二十世紀記念館なしっこ館、円形劇場くらしフィギュアミュージアム ・パス価格:1,000円(大人小人共通、5歳以下無料)
7 まんがアニメに特化した海外プロモーション	4,019	まんがやアニメをテーマとする海外催事へ出展し、まんが王国とっどりの魅力を発信する。
8 まんがアニメ資源活用誘客促進補助金	9,000	まんがアニメの地域資源を活かして観光誘客等の取組を行う市町村等を支援する。 ・補助率:1/2 ・上限額:2,000千円
合計	27,169	

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・人気まんがやアニメとのタイアップを積極的に進め、情報発信と誘客促進を図る。
- ・オンラインや非接触といった手法での企画を積極的に実施する。プロモーションと受け地整備(割引パス)を維持し、国際線の再開が見込まれた場合に迅速に対応できるようにする。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7 款 商工費

3 項 観光費

まんが王国官房(内線:7800)

1 目 観光費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
水木しげる生誕100年記念事業	15,000	17,000	△2,000				15,000	
トータルコスト	16,577千円 (前年度 18,584千円) [正職員:0.2人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とつとりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

故水木しげる氏の偉業をたたえ、妖怪パワーにより、本県の魅力発信と観光誘客を推進する。令和4年3月に水木しげる氏が生誕100年を迎えるにあたり、氏のふるさとへの功績に感謝し生誕100年をお祝いするとともに、誘客促進につながる催しを開催する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

項目	予算額	内容
1 水木しげる生誕祭の開催	6,000	水木しげる先生のふるさとへの功績の顕彰と観光誘客を促進する催事を境港市と共同で開催する。 ・期日 令和5年3月(水木先生生誕月) ・会場 境港市ほか ・内容 水木しげる先生にゆかりのある著名人等によるトークショー等
2 ゲゲゲ忌「鳥取コラボDAY」の開催	4,000	アニメーション会社の協力を得て、東京・調布で行われる「ゲゲゲ忌」に出展し、アニメをテーマにした催事を行うことにより、首都圏で「アニメ鬼太郎の聖地」としての鳥取県の認知度向上及び誘客促進を図る。 ・時期 令和4年11月 ・場所 調布市内劇場、駅前広場等
3 米子鬼太郎空港装飾の整備	5,000	米子鬼太郎空港の鬼太郎装飾の整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和5年3月 ・内容 愛称にふさわしい鬼太郎装飾の整備
合計	15,000	

3 事業目標・取組状況・改善点

- 水木しげる先生の作品は、幅広い年齢層の多くのファンに愛され、本県の情報発信と観光誘客における大切な財産である。
- 水木しげるロード及び水木しげる記念館の入込客数は、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の放送や水木しげるロードリニューアルの効果で増加している。これも水木先生のふるさと愛の賜物であり、その功績をたたえ、引き続き生誕祭を開催する。
- 令和3年度は水木先生ゆかりの東京・調布で、先生の命日を偲ぶ「ゲゲゲ忌」(調布市主催)と連携し、アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の声優のトークショーを開催した。令和4年度も首都圏で、より効果的な情報発信を行い、本県への誘客促進を図る。
- 令和4年3月には、水木しげる先生の「生誕100年」を迎える。この節目にソフト・ハード両面で記念事業を行う。

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考									
				国庫支出金	起債	その他	一般財源										
世界が認めた漫画家・谷口ジロー顕彰事業	4,000	3,000	1,000				4,000										
トータルコスト	4,789千円 (前年度 3,792千円) [正職員:0.1人]																
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施																
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっりの推進																
事業内容の説明																	
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>世界的な漫画家である谷口ジロー氏の出身地である本県が、世界各地のファンにとって聖地となることを目指し、谷口作品の魅力やゆかりの地について情報発信する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p style="text-align: right;">(単位:千円)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予算額</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>谷口ジロー原画展の開催</td> <td>3,000</td> <td>谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。</td> </tr> <tr> <td>(新)全国巡回展との連携</td> <td>1,000</td> <td>全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業目標・取組状況・改善点</p> <ul style="list-style-type: none"> 谷口ジロー先生は、水木しげる先生、青山剛昌先生とともに「まんが王国とっり」の巨匠である。谷口先生は繊細で精緻な画風が高く評価されており、事業実施に当たっては「画の美しさ」で誘客促進を図るといふねらいで原画展を開催するとともに、展覧会を通じて谷口先生への理解を深めその業績を顕彰することを目的としている。 谷口作品は、フランスをはじめヨーロッパで極めて高い人気を誇る。本県へのフランス人旅行者はまだ多くないが、鳥根県や岡山県など隣県には一定数の入り込みがあり、将来的にこうしたヨーロッパからの旅行者を取り込む流れをつくる必要がある。 ご逝去翌年の平成30年以降毎年開催してきた原画展を継続的に実施することで、郷土の誇りとしてその偉大さを共有していくとともに、谷口作品の魅力を通じた情報発信につなげる。 鳥取市及び地元団体とも連携し、谷口ジロー先生を顕彰する機運醸成に努める。 									項目	予算額	内容	谷口ジロー原画展の開催	3,000	谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。	(新)全国巡回展との連携	1,000	全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。
項目	予算額	内容															
谷口ジロー原画展の開催	3,000	谷口ジロー氏の偉大な業績を広く周知し、国内外からの観光誘客につなげるため、鳥取市内の会場において『テーマ性のある原画展示』を行う。															
(新)全国巡回展との連携	1,000	全国巡回する原画展「描くひと 谷口ジローの世界」と連携し、開催地で本県の情報発信を行う。															

令和4年度一般会計当初予算説明資料

7款 商工費

3項 観光費

1目 観光費

まんが王国官房(内線:7801)

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
まんが王国コナンで誘客促進事業	13,205	28,966	△15,761				13,205	
トータルコスト	19,514千円 (前年度 35,303千円) [正職員:0.8人]							
主な業務内容	イベント等の企画立案・委託契約・管理監督・運営実施							
工程表の政策内容	誘客につながるまんが王国とっりの推進							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

名探偵コナンの国内外での高い知名度を活かし、「鳥取=コナン」を発信することで本県への誘客を促進する。

2 主な事業内容

(単位:千円)

	項目	予算額	内容
1	名探偵コナンまつりの開催	8,705	まんが王国とっりの夏の恒例イベントとして定着したコナンまつりを開催し、県外からの集客を図る。 ・時期 令和4年9月頃
2	鳥取砂丘コナン空港の装飾拡充	3,500	鳥取砂丘コナン空港のコナン装飾の拡充整備を行い、愛称にふさわしい空港を目指すとともに、国内外への情報発信及び誘客促進に繋げる。 ・時期 令和4年9月頃
3	名探偵コナン列車の運行	1,000	現在2編成運行中の名探偵コナン列車の保守管理経費。
合計		13,205	

3 事業目標・取組状況・改善点

- ・ 連載27周年を迎える名探偵コナンを中心に青山先生の描くキャラクターを活用して本県の認知度向上及び誘客促進を図る。
- ・ 青山剛昌氏の代表作「名探偵コナン」はコミックス世界累計発行部数が2億5千万冊を突破、世界25の国と地域で翻訳されるなど、極めて高い人気を誇る作品である。
- ・ 「名探偵コナンまつり」は、毎年全国から多くのコナンファンが来場している。令和3年度は、コロナ感染拡大の影響によりホールイベント開催は行わず、代替としてコミックス100巻発売をお祝いするタペストリーのお披露目を行い、まんが王国とっりの取組を広く情報発信することで、県の魅力を発信することができた。
- ・ 鳥取砂丘コナン空港とあわせ「鳥取=コナン」の認知度は高まっており、コロナの影響を受けつつもSNS投稿の装飾画像などによる、本県への観光機運醸成につながっている。
- ・ 平成24年度から運行されている名探偵コナンイラスト列車は、令和元年度新色車両へリニューアルされた。国内外問わず多くの観光客にとって「一度は見たい特別な列車」として広く認知されている。
- ・ こうした流れを維持し、取組を継続・強化することで一層の観光誘客を図る。